

「 憲法改正に反対する 」

神戸市 匿名希望

太平洋戦争が終わる昭和20年に入りアメリカ軍の日本本土への空爆は日を重ねる毎に厳しく激しくなってきた。東京、大阪への大空襲はじめ日本各地の都市はB29を主力にする米軍の爆弾、焼夷弾などの爆撃で軒並みに焦土とかし焼け野原になりました。

わが町明石も飛行場があつて空爆の目標になり、学校の校庭がサツマイモ畠になったので肥料の馬糞拾いに国道に出て艦載機の機銃掃射を体験した。今日思い出してもぞっとする。

明石公園で悲惨なできごとがあつた。学徒動員の学生が避難していたところへ米軍の爆撃があり大勢亡くなられた。今でも累々と横たわる死体の無惨な情景がまぶたに焼き付いています。

八月に入り広島、長崎に新型爆弾が投下されたとのうわさ、普通の爆弾と違い強い殺傷力があると聞きました。大勢亡くなられたそうです。原子爆弾と聞いたのは終戦後でした。原爆の被爆の方たちは一般の空爆の被害者と違い後遺症に悩まされています。戦後64年もののに原爆症をめぐる裁判は終結していません。原爆症救済を議員立法でとの動きもある様子、日本政府も被爆者の皆さんが納得するようにしていただきたい。

同時に一般空襲被害者のことを忘れないで下さい。兵隊さんを含む軍事関係者の人たちは恩給などを支給されているらしいが、一般空襲の被害者はどうなっていますか。私は終戦記念日には戦没者に心を込めて黙祷しています。

明石公園に明石空襲犠牲者の慰霊塔があります。私は碑の前を通る時には自然と頭が下がります。戦争を知らない人が多くなりましたが、空爆犠牲者の心情をくみとり慰霊碑の前で手を合わせてほしいと思います。

悪夢の戦争を反省して平和国家の進路と人権擁護に果している平和憲法9条を改正して外国に軍隊派遣をとの声が大きくなってきた。しかし、憲法は敗戦後の焦土に差す光、日本の希望ではなかったのか。

核施設をめぐり北朝鮮やイランと話し合いがありますが、うまく話がまとまるように願いたい。日本は世界で唯一の被爆国です。戦争の惨状、痛みはどこの国よりも分かっています。

戦後64年平和憲法を維持してきた「非現実的な一国平和主義」と国際社会から非難されるだろうが、今日まで貫いてきた世界平和への道を歩み続けるべきです。憲法9条改正に断固反対します。